

令和2年度 尼崎理容美容専門学校 学校評価委員会

令和3年6月9日(水)
尼崎理容美容専門学校

学校関係者評価委員

- ・ 林 久博 : 尼崎市議会議員
- ・ 森井 怜 : 本校卒業生、レイ美容室代表
- ・ 上部 幹男 : 元尼崎保健所職員
- ・ 鶴田 昂輝 : 本校卒業生、K.Tパームス勤務

評価項目ごとの関係者評価・意見

(1) 教育理念・目標

建学の精神「克己」「努力」「奉仕」のもと、育成人物像の明確化と将来構想、またその周知に努める。

時代とのズレが生じないように、今の時代に沿う考え方も必要。

コロナ禍においても学生の「学びたい」という気持ちを大切に寄り添いながら学びを進めていく。

歴史があるが過去に縛られずにこれからの将来を見て、もっとひとりひとりが学校の将来、学生の将来に向けて努力すべき。

(2) 学校運営

情報システム化をうまく生かし、少人数で効率的に仕事をしていくための構築。

タブレットの導入は先見があり、とても良かった。

(3) 教育活動

学校としての理想と現実学生のやる気を持たせるという授業づくりを、教員と学校とがすりあわせていく。

学生たちのニーズに合わせた取組を行いながら、学校の在り方を分かりやすく示していく。

(4) 学習成果

卒業後のキャリア形成への効果を把握して改善

(5) 学生支援

就職支援にはとても力を入れている。

(6) 教育環境

施設には限りがあるが、まずはきれいに使う、個人のものではないという意識を学生に持ってもらおう。

(7) 学生の受け入れ募集

SNSの活用はもちろん、既存の学生たちに入学した決め手などのアンケートを行い、その結果を分析することも大切

生徒一人一人への情報提供に努めていく柔軟な対応が求められる。

(8) 財務

学生数を確保することが、財務安定につながる。

(9) 法令等の遵守

新しい法令などに迅速に対応できるよう、関係部署との連携を密にとって、相談できる環境を整えておくことが大切である。

(10) 社会貢献・地域貢献

地域の人々との連携をさらに強くして、地域に根差した、求められる講座を提供していく

全体評価

学校評価の自己評価としては、とても丁寧になされており、非常に高い評価値をつけられている。

ただし評価する上でのアンケート項目については碎いて、碎いて、分かりやすく説明していく必要性もあるのではないかと。どう評価をすればいいのか、わかり難い部分も正直にある。例えば保護者に対してはこのように伝えているなど、補足説明があればよりわかりやすくなると考えられる。

全般的には評価の数値にも表れているように、学校として理念を掲げながら、それを基本としてうまく運営しているのではないかと。今後もより、具体的にあり方、方向性を明確に示しながら、OB、OGらもうまく登用、活用して、取り組んでいくべき。